

眼科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	特発性黄斑上膜における術後視力回復に影響する因子の検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	(所属) 眼科学講座 (職名) 教授 (氏名) 瓶井資弘
研究の対象となる方	研究実施承認日から 2029 年 3 月までに【特発性黄斑上膜】と診断された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2030 年 3 月 31 日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕 特発性網膜上膜患者さんの視力回復は、患者さんそれぞれで異なります。視力値とそのほかの検査結果の関連を調査し、特発性網膜上膜における術後視力予測の精度向上および、手術適応判断に寄与することを目的としています。</p> <p>〔利用方法〕 電子カルテから得た、網膜断面の画像(光干渉断層計)、網膜血管の血流(光干渉断層血管撮影)の測定値と、術後視力値の関係について調査します。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕 非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕 非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：非該当</p> <p>情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、光干渉断層計、光干渉断層血管撮影の結果を収集</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2029 年 12 月 31 日までに、郵送、メール送信、窓口での受付、電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。

外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 眼科 担当者：(職名) 視能訓練士 (氏名) 水本強一 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 37000) メール：mizumoto@aichi-med-u.ac.jp